

登録販売者試験

問題集

令和7年版

北関東・甲信越編

(茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟)

◆厚生労働省「試験問題の作成に関する手引き（令和6年4月）」対応

目次

☑ 1. 令和6年度（2024年）	問題	5
	正解&解説	30
☑ 2. 令和5年度（2023年）	問題	38
	正解&解説	65
☑ 3. 令和4年度（2022年）	問題	72
	正解&解説	97
☑ 4. 令和3年度（2021年）	問題	104
	正解&解説	130
☑ 5. 令和2年度（2020年）	問題	138
	正解&解説	164

公論出版

● 本書の使い方 ●

①本書は、各都道府県が行う登録販売者試験のうち、北関東・甲信越ブロック（茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟）で実施された過去5年分（令和6年度～令和2年度）を、年度ごとに「問題」と「正解&解説」にまとめたものです。

②試験問題は、前半60問、後半60問の計120問出題され、その内容は以下の5項目に分かれています。

1. 薬事関係法規・制度	20問	前半
2. 医薬品に共通する特性と基本的な知識	20問	
3. 人体の働きと医薬品	20問	
4. 主な医薬品とその作用	40問	後半
5. 医薬品の適正使用・安全対策	20問	

③試験問題は、厚生労働省作成の「試験問題の作成に関する手引き」に沿って出題されています。なお、本書は「試験問題の作成に関する手引き」（令和4年3月作成、令和6年4月一部改訂）を元に編集を行っています。令和5年度～令和2年度の問題文に「改」とあるものは、出題時の「試験問題の作成に関する手引き」から改正された内容となり、編集部で試験問題を一部変更していることを表します。また、「類題」や「同問」の表記については、編集部が問題や選択肢の類似性を判断し付記しています（選択肢の1つでもほぼ同じ内容であるものは類題としている）。

④「正解&解説」には公表されている正解と、出題範囲である「試験問題の作成に関する手引き」を参考に弊社が作成した解説を掲載しています。一問ごと、各選択肢ごとに解説しているため、わからなかった問題や間違ってしまった問題は、解説を参考に繰り返し解いていくことで苦手部分を集中的に学習し、また、関連する事項も合わせて対策をとることができます。問題の左端に付いている☑は、正しく答えることができたかどうかのチェックマークなどに、活用してください。

※正しい選択肢に関しては、選択肢そのものが答えになる場合、解説を省略しています。



⑤本書発行後「試験問題の作成に関する手引き」の内容に変更があった場合には、公論出版ホームページ（<https://www.kouronpub.com>）にて、本書の内容に関わるものについて掲載します。ご確認ください。また、万が一本書の内容に訂正等が生じた場合も、ホームページにてご案内いたします。

⑥本書の内容でわからないことがありましたら、**必要事項を明記の上**、下記までお問い合わせください。

※お問い合わせは、**本書の内容に限ります**。

※回答までにお時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※必要事項に記載漏れ等があると、お答えできない場合がございます。ご注意ください。

※キャリアメールをご使用の場合、下記メールアドレスの受信設定を行ってからご連絡ください。


令和6年12月 編集部

本書籍に関するお問い合わせ

メール
お問合せ専用フォーム



FAX
03-3837-5740



必要事項

以下を必ずご記入ください。

- ・お客様の氏名とフリガナ
- ・FAX 番号（FAX の場合のみ）
- ・書籍名（年版・上巻・下巻など）
- ・該当ページ数 ・問合せ内容

※電話でのお問い合わせは、受け付けておりません。

● 受験ガイド ●

1. 登録販売者とは

医薬品の販売業務は、薬剤師又は登録販売者でなければ行うことができません。登録販売者は、一般用医薬品のうち、第二類医薬品と第三類医薬品を販売できる資格です。

2. 登録販売者試験の受験資格

学歴、実務経験を問わないため、誰でも受験することができます。

3. 登録販売者試験について

● 試験地

- ①毎年通常1回、各都道府県ごとに実施されます。令和6年度は、以下の8ブロックで行われました。また、年度によりブロックが変更になる場合があります。

[北海道・東北] 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
[北関東・甲信越] 茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟
[南関東] 東京・埼玉・千葉・神奈川
[北陸・東海] 富山・石川・岐阜・静岡・愛知・三重
[奈良]
[関西広域連合・福井] 滋賀・京都・大阪・兵庫・和歌山・徳島・福井
[中国・四国] 島根・鳥取・岡山・広島・山口・香川・愛媛・高知
[九州・沖縄] 福岡・大分・宮崎・鹿児島・熊本・佐賀・長崎・沖縄

- ②試験の日時・場所・申込方法等は、4月以降、各都道府県のホームページ等に掲載されます。
- ③どの都道府県でも受験可能です。また、1つの都道府県で合格すると、勤務地となるどこの都道府県でも販売従事登録を受け、登録販売者として働くことが可能です。
- ※願書提出時点で当該都道府県に在住、通勤又は通学している人の受験に制限される場合があります。ご注意ください。

● 試験出題内容

厚生労働省作成の「試験問題の作成に関する手引き」から、各ブロックごとに試験問題が出題されます。マークシート方式の筆記試験で、全120問（午前2時間で60問、午後2時間で60問）で、その内訳は次のとおりです。

試験科目	手引き	配点	試験時間
薬事関係法規・制度（20問）	4章	20点	前半（12:30～14:30） 2時間（120分）
医薬品に共通する特性と基本的な知識（20問）	1章	20点	
人体の働きと医薬品（20問）	2章	20点	
主な医薬品とその作用（40問）	3章	40点	後半（15:15～17:15） 2時間（120分）
医薬品の適正使用・安全対策（20問）	5章	20点	
合計（120問）		120点満点	4時間

● 合格基準

北関東・甲信越ブロックにおける配点は、1問1点とし、以下2つの基準の両方を満たすと、合格となります。

- | |
|--|
| 1. 総出題数（120問）に対する正答率が70%以上（84点以上）であること。 |
| 2. 試験項目ごとの出題数に対する正答率が35%以上（20点中7点以上、40点中14点以上）であること。 |

〔薬事に関する法規と制度〕

【1】 次の記述は、医薬品医療機器等法第1条の条文である。()の中に入れるべき字句の正しい組合せはどれか。
 第一条 この法律は、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品（以下「医薬品等」という。）の品質、有効性及び（a）の確保並びにこれらの使用による保健衛生上の危害の発生及び拡大の防止のために必要な規制を行うとともに、（b）の規制に関する措置を講ずるほか、医療上特にその必要性が高い医薬品、医療機器及び再生医療等製品の研究開発の促進のために必要な措置を講ずることにより、（c）を図ることを目的とする。

	a	b	c
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 安定供給	指定薬物	医療の質の確保
	2. 安定供給	麻薬	保健衛生の向上
	3. 安全性	指定薬物	保健衛生の向上
	4. 安全性	麻薬	医療の質の確保
	5. 安全性	指定薬物	医療の質の確保

類題 R3【1】・R2【1】

【2】 登録販売者に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。
 a. 登録販売者試験に合格した者であって、医薬品の販売又は授与に従事しようとするものは、厚生労働大臣の登録を受けなければならない。
 b. 登録販売者は、医薬品医療機器等法施行規則第159条の8第1項の登録事項に変更を生じたときは、30日以内に、その旨を届けなければならない。
 c. 店舗販売業の店舗の管理者となる登録販売者は、一定の実務・業務経験が必要とされる。

	a	b	c
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 正	誤	誤
	2. 誤	正	誤
	3. 正	誤	正
	4. 正	正	誤
	5. 誤	正	正

類題 R5【1】

【3】 都道府県が備える登録販売者名簿の登録事項の正誤について、医薬品医療機器等法施行規則第159条の8第1項に照らし、正しい組合せはどれか。

- a. 登録番号及び登録年月日
- b. 現住所、氏名、生年月日及び性別
- c. 登録販売者試験合格の年月及び試験施行地市区町村名

	a	b	c
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 正	正	誤
	2. 正	誤	誤
	3. 誤	正	誤
	4. 誤	誤	正

【4】 薬局に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 調剤を実施する薬局は、医療法において、医療提供施設として位置づけられている。
- b. 薬局は、厚生労働大臣の許可を受けなければ、開設してはならない。
- c. 薬局開設者は薬剤師でなければならない。
- d. 薬局では、医療用医薬品の他、要指導医薬品及び一般用医薬品を取り扱うことができる。

<input checked="" type="checkbox"/>	1. (a、b)	2. (a、d)
	3. (b、d)	4. (c、d)

類題 R4【6】・R3【8】

【5】 不良医薬品に関する次の記述の正誤について、医薬品医療機器等法第56条に照らし、正しい組合せはどれか。

- a. 日本薬局方に収められている医薬品であって、その性状又は品質が日本薬局方で定める基準に適合しないものは、不良医薬品である。
- b. 着色のみを目的として、厚生労働省令で定めるタール色素以外のタール色素が使用されている医薬品は、不良医薬品である。
- c. 病原微生物その他疾病の原因となるものにより汚染されているおそれがある医薬品は、不良医薬品ではない。

	a	b	c
<input type="checkbox"/>	1. 正	正	誤
	2. 正	誤	誤
	3. 誤	正	正
	4. 正	誤	正

〔薬事に関する法規と制度〕

【1】3

〔解説〕 この法律は、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品（以下「医薬品等」という。）の品質、有効性及び（a：安全性）の確保並びにこれらの使用による保健衛生上の危害の発生及び拡大の防止のために必要な規制を行うとともに、（b：指定薬物）の規制に関する措置を講ずるほか、医療上特にその必要性が高い医薬品、医療機器及び再生医療等製品の研究開発の促進のために必要な措置を講ずることにより、（c：保健衛生の向上）を図ることを目的とする。

【2】5（a. 誤：b. 正：c. 正）

〔解説〕 a. 「厚生労働大臣」⇒「都道府県知事」。

【3】2（a. 正：b. 誤：c. 誤）

〔解説〕 b. 「現住所」⇒「本籍地都道府県名（国籍を有していない者については、その国籍）」。

c. 「試験施行地市区町村名」⇒「試験施行地都道府県名」。

【4】2（a. d）

〔解説〕 b. 薬局は、その所在地の都道府県知事（その所在地が保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合においては市長又は区長）の許可を受けなければ、開設してはならない。

c. 薬局開設者が薬剤師でないときは、その薬局で薬事に関する実務に従事する薬剤師のうちから管理者を指定して実地に管理させなければならない。

【5】1（a. 正：b. 正：c. 誤）

〔解説〕 c. 病原微生物その他疾病の原因となるものにより汚染され、又は汚染されているおそれがある医薬品は、不良医薬品である。

【6】3（a. d）

〔解説〕 b & c. 「情報提供場所の写真」、「現在勤務している登録販売者の氏名及び写真」は表示しなくてよい。

【7】2（a. 誤：b. 正：c. 誤：d. 誤）

〔解説〕 a. 毒薬及び劇薬は、薬効が期待される摂取量（薬用量）と中毒のおそれがある摂取量（中毒量）が接近しており安全域が狭い。

c. 「劇薬」⇒「毒薬」。

d. 毒薬又は劇薬については、店舗管理者が薬剤師である店舗販売業者及び医薬品営業所管理者が薬剤師である卸売販売業者以外の医薬品の販売業者は、開封して、販売等してはならないとされている。

【8】1

〔解説〕 「生物由来製品」とは、人その他の生物（（a：植物）を除く。）に由来するものを原料又は材料として製造をされる医薬品、医薬部外品、（b：化粧品又は医療機器）のうち、保健衛生上特別の注意を要するものとして、厚生労働大臣が（c：薬事審議会）の意見を聴いて指定するものをいう。

【9】1（a. 正：b. 誤：c. 誤：d. 正）

〔解説〕 b. 「都道府県知事」⇒「厚生労働大臣」。

c. 第三類医薬品は、保健衛生上のリスクが比較的低い一般用医薬品であるが、日常生活に支障を来す程度ではないが、副作用等により身体の変調・不調が起ころおそれはある。

【10】4（c. d）

〔解説〕 a. 配置販売品目以外の一般用医薬品にあっては、「店舗専用」の文字を表示する。

b. 指定第二类医薬品にあっては、枠の中に「2」の数字を表示する。

【11】3（a. 正：b. 正：c. 正：d. 誤）

〔解説〕 d. 医薬部外品の直接の容器又は直接の被包には、「医薬部外品」の文字の表示が義務付けられている。

【12】2（a. c）

〔解説〕 b. 医薬部外品は、機械器具等でないものである。

d. 衛生害虫類（ねずみ、はえ、蚊、のみその他これらに類する生物）の防除のため使用される製品は、「防除用医薬部外品」の表示が義務付けられている。

【13】5

〔解説〕 5. 化粧品は、「人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌を変え、又は皮膚若しくは毛髪を健やかに保つ」の範囲内においてのみ効能効果を表示・標榜できる。「くせ毛、ちぢれ毛又はウェーブ毛髪をのばし、保つ」毛髪のウェーブ等を目的とする外用剤は、医薬部外品に該当する。

【14】5（a. 正：b. 正：c. 正）

【15】4（a. 誤：b. 正：c. 誤）

〔解説〕 a. 一般の生活者に対して医薬品を販売等することができるのは、店舗販売業及び配置販売業の許可を受けた者だけである。

c. 「3年ごと」⇒「6年ごと」。

【16】3

〔解説〕 4. 薬局であって、その機能が、医師若しくは歯科医師又は薬剤師が診療又は調剤に従事する他の医療提供施設と連携し、薬剤の適正な使用の確保のために専門的な薬学的知見に基づく指導を実施するために必要な機能を有する薬局は、傷病の区分ごとに、その所在地の都道府県知事の認定を受けて専門医療機関連携薬局と称することができる。

5. 患者が継続して利用するために必要な機能及び個人の主体的な健康の保持増進への取組を積極的に支援する機能を有する薬局を健康サポート薬局という。

【17】3（a. 誤：b. 誤：c. 正：d. 正）

〔解説〕 a. 店舗販売業の店舗は薬局と異なり、薬剤師が従事していても調剤を行うことはできない。

b. 指定第二类医薬品は登録販売者も販売又は授与することができる。

【18】4（a. 誤：b. 正：c. 正：d. 正）

〔解説〕 a. 配置販売業の許可は、一般用医薬品を、配置により販売又は授与する業務について、配置しようとする区域をその区域に含む都道府県ごとに、その都道府県知事が与えることとされている。

〔薬事に関する法規と制度〕

【1】販売従事登録の申請及び登録販売者の届出に関する次の記述の正誤について、医薬品医療機器等法の規定に照らし、正しい組合せはどれか。

- a. 店舗販売業の店舗で勤務する者が販売従事登録を受けようとする場合は、医薬品医療機器等法施行規則に定める様式による申請書を、その者の住所地の都道府県知事に提出しなければならない。
- b. 登録販売者は、医薬品医療機器等法施行規則に定める登録事項に変更が生じたときは、60日以内に、登録を受けた都道府県知事に変更届を提出しなければならない。
- c. 登録販売者は、精神の機能の障害を有する状態となり登録販売者の業務の継続が著しく困難になったときは、遅滞なく、登録を受けた都道府県知事にその旨を届け出ることとされている。

- | | a | b | c |
|-------------------------------------|------|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. 誤 | 正 | 正 |
| | 2. 誤 | 誤 | 正 |
| | 3. 正 | 誤 | 正 |
| | 4. 正 | 正 | 誤 |

類題 R6【2】・R4【3】・R3【2】・R2【3】

【2】医薬品の販売業に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a. 店舗による販売又は授与の方法により医薬品を販売できるのは、店舗販売業の許可を受けた者だけである。
- b. 医薬品の販売業の許可は、店舗販売業、配置販売業又は卸売販売業の許可の3種類に分けられている。
- c. 医薬品の販売業のうち、一般の生活者に対して医薬品を販売することができるのは、店舗販売業及び配置販売業の許可を受けた者だけである。
- d. 配置販売業の許可は、5年ごとに、その更新を受けなければ、その期間の経過によって、その効力を失う。

- | | a | b | c | d |
|-------------------------------------|------|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. 正 | 誤 | 誤 | 誤 |
| | 2. 正 | 正 | 誤 | 正 |
| | 3. 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| | 4. 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| | 5. 誤 | 正 | 正 | 誤 |

類題 R6【15】・R3【7】

【3】薬局に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a. 薬局開設者は、配置販売業の許可を受けなくても、配置により医薬品を販売することができる。
- b. 薬局は、特定の購入者の求めに応じて医薬品の包装を開封して分割販売することができる。

- c. 医薬品を取り扱う場所であって、薬局として開設の許可を受けていないものについては、病院又は診療所の調剤所を除き、薬局の名称を付してはならない。

- | | a | b | c |
|-------------------------------------|------|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. 誤 | 正 | 正 |
| | 2. 誤 | 正 | 誤 |
| | 3. 正 | 誤 | 正 |
| | 4. 正 | 正 | 誤 |

類題 R6【18】・R4【6】・R4【8】・R3【8】

【4】店舗販売業に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 第一類医薬品は、薬剤師又は登録販売者により販売又は授与させなければならない。
- b. 配置販売業において、登録販売者として業務に従事した期間が、過去5年間のうち通算して2年以上（従事期間が月単位で計算して、1か月に80時間以上従事した月が24月以上）ある者は、第二類医薬品又は第三類医薬品を販売する店舗販売業の店舗管理者になることができる。
- c. 薬剤師が店舗管理者である場合、医療用医薬品の販売又は授与が認められている。
- d. 店舗管理者は、その店舗の所在地の都道府県知事（その店舗の所在地が保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合においては、市長又は区長）の許可を受けた場合を除き、その店舗以外の場所で、業として店舗の管理その他薬事に関する実務に従事する者であってはならない。

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. (a, b) | 2. (a, c) | 3. (b, c) |
| | 4. (b, d) | 5. (c, d) | |

類題 R6【17】・R4【10】

【5】店舗販売業者が医薬品医療機器等法施行規則第159条の14第2項第2号の規定に基づき、登録販売者に販売させる際に、第二類医薬品を購入しようとする者に伝えさせなければならない事項のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a. 販売した店舗の電話番号その他連絡先
 - b. 販売した登録販売者の氏名
 - c. 販売した第二類医薬品の使用期限
 - d. 販売した第二類医薬品の有効成分の名称
- | | | | |
|-------------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. (a, b) | 2. (a, d) | 3. (b, c) |
| | 4. (b, d) | 5. (c, d) | |

類題 R4【13】

〔薬事に関する法規と制度〕

【1】2 (a. 誤 : b. 誤 : c. 正)

〔解説〕 a. 販売従事登録を受けようとする者は、申請書を**医薬品の販売又は授与に従事する薬局又は医薬品の販売業の店舗の所在地の都道府県知事**に提出しなければならない。

b. 「60日以内」⇒「**30日以内**」。

【2】5 (a. 誤 : b. 正 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 a. 医薬品を、業として販売、授与又は販売若しくは授与の目的での貯蔵、若しくは陳列を行うには、**薬局の開設又は医薬品の販売業の許可**を受ける必要がある。

d. 「5年ごと」⇒「**6年ごと**」。

【3】1 (a. 誤 : b. 正 : c. 正)

〔解説〕 a. 薬局開設者が、配置による販売又は授与の方法で医薬品を販売等しようとする場合には、別途、**配置販売業の許可を受ける必要がある**。

【4】4 (b, d)

〔解説〕 a. 「薬剤師又は登録販売者」⇒「**薬剤師**」。

c. 店舗販売業は、**一般用医薬品及び要指導医薬品以外の医薬品の販売等**は認められていない。医療用医薬品の販売は、**薬局及び卸売販売業者**に限られる。

【5】1 (a, b)

〔解説〕 その他「当該薬局又は店舗の名称」を購入する者に伝えさせなければならない。

【6】2 (a. 誤 : b. 正 : c. 正 : d. 正)

〔解説〕 a. 第一類医薬品は、**第一類医薬品陳列区画**(構造設備規則に規定する第一類医薬品陳列区画をいう。)の内部の陳列設備に陳列しなければならない。また、**鍵をかけた陳列設備に陳列する場合又は第一類医薬品を購入しようとする者等が直接手の触れられない陳列設備に陳列する場合を除く**。

【7】5 (c, d)

〔解説〕 a. **要指導医薬品は、特定販売により販売又は授与できない**。

b. **特定販売により販売又は授与できるのは、一般用医薬品又は薬局製造販売医薬品(毒薬及び劇薬であるものを除く)**である。

【8】3

〔解説〕 3. その他記録事項は以下の通り。

◎ロット番号(ロットを構成しない医薬品については製造番号又は製造記号)

◎使用の期限

この2つは**医療用医薬品(体外診断用医薬品を除く)**である場合に限る。また、**一般用医薬品についても記載することが望ましい**。

【9】3 (a. 正 : b. 誤 : c. 正)

〔解説〕 b. **日本薬局方に記載されている医薬品の中には、一般用医薬品として販売されている、又は一般用医薬品の中に配合されているものも少なくない**。

【10】2 (a. 正 : b. 誤 : c. 正)

〔解説〕 b. **健康食品という単語は、法令で定義された用語ものではないが、一般に用いられている単語である**。

【11】4 (a. 正 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 c. 人の疾病の診断、治療若しくは予防に使用されること、又は人の身体の構造若しくは機能に影響を及ぼすことを目的とするものは**化粧品に含まれない**。

【12】1 (a. 正 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 c. **劇薬は、要指導医薬品に該当することはあるが、現在のところ、劇薬で一般用医薬品のものはない**。

【13】3 (a. 正 : b. 誤 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 b. 効能効果の表現は、**医療用医薬品**では通常、**診断疾患名で示されるのに対し、一般用医薬品及び要指導医薬品**では、**一般の生活者が判断できる症状で示されている**。

d. **卸売販売業者は、配置販売業者に対し、一般用医薬品以外の医薬品を販売又は授与してはならないこととされている**。

【14】5 (a. 誤 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 a. 法定表示事項として、**要指導医薬品**には「**要指導医薬品**」の文字が記載されているが、「**一般用医薬品**」の記載はない。

c. **添付文書等の記載は、邦文でされていなければならないとされている**。

【15】3 (a, d)

〔解説〕 b. **濫用等のおそれのあるものとして厚生労働大臣が指定する医薬品は、以下の通り**。

◎エフェドリン ◎コデイン

◎ジヒドロコデイン ◎プロモバルレル尿素

◎ブソイドエフェドリン ◎メチルエフェドリン

c. **濫用等のおそれのある医薬品を購入し、又は譲り受けようとする者が若年者である場合は、当該者の氏名及び年齢を薬剤師又は登録販売者に確認させなければならない**。

【16】4 (a. 誤 : b. 正 : c. 正)

〔解説〕 a. **漢方処方製剤の効能効果は、配合されている個々の生薬成分が相互に作用しているため、それらの構成生薬の作用を個別に挙げて説明することは不適当である**。

【17】2

〔解説〕 第六十六条 (a: **何人も**) 医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器又は再生医療等製品の名称、(b: **製造方法**)、効能、効果又は性能に関して、明示的であると暗示的であるとを問わず、**虚偽又は(c: 誇大)**な記事を広告し、記述し、又は流布してはならない。

【18】2 (a. 正 : b. 正 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 d. **効能効果が重複する組合せや、相互作用等により保健衛生上の危害を生じるおそれのある組合せは不適当である**。

【19】5 (a. 正 : b. 正 : c. 正 : d. 正)

〔主な医薬品とその作用〕

【61】 かぜ薬に含まれている次の鎮咳成分のうち、麻薬性鎮咳成分と呼ばれ、依存性があるものとして正しいものはどれか。

- 1. ノスカピン
- 2. デキストロメトルフアン臭化水素酸塩水和物
- 3. クロベラスチン塩酸塩
- 4. チペピジンヒベンズ酸塩
- 5. コデインリン酸塩水和物

【62】 かぜ薬（総合感冒薬）に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a. 発熱、咳、鼻水など症状がはっきりしている場合には、かぜ薬（総合感冒薬）が選択されるのが最適である。
- b. 医薬品の販売等に従事する専門家は、インフルエンザの流行期に小児用かぜ薬を販売する場合、解熱鎮痛成分がアセトアミノフェンや生薬成分のみからなる製剤の選択を提案する等の対応を図ることが重要である。
- c. かぜ薬は、かぜの諸症状の緩和のほか、ウイルスの増殖抑制や体内からの除去を目的として使用される医薬品の総称である。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| | a | b | c |
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 誤 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 |
| 3. | 誤 | 正 | 正 |
| 4. | 誤 | 誤 | 誤 |

〔同問〕 R6 【61】

【63】 次の表は、ある解熱鎮痛薬に含まれている成分の一覧である。

1錠中	
エテンザミド	200mg
アセトアミノフェン	80mg
ア릴イソプロピルアセチル尿素	30mg
無水カフェイン	40mg

この解熱鎮痛薬に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a. エテンザミドは、痛みの発生を抑える働きが作用の中心となっている他の解熱鎮痛成分に比べ、痛みが神経を伝わっていくのを抑える働きが弱い。
- b. アセトアミノフェンは、まれに重篤な副作用として肝機能障害を生じることがあり、日頃から酒類（アルコール）をよく摂取する人で起こりやすい。

- c. 無水カフェインは、中枢神経系を刺激して頭をすっきりさせたり、疲労感・倦怠感を和らげることなどが目的で配合されており、鎮痛作用には関与していない。
- d. アセトアミノフェン、無水カフェイン、エテンザミドの組合せは「ACE処方」と呼ばれる。

- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| | a | b | c | d |
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 3. | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 4. | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 5. | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

〔類題〕 R3 【62】

【64】 解熱鎮痛薬及び頭痛に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a. 頭痛が頻繁に出現して24時間以上続く場合や、一般用医薬品を使用しても痛みを抑えられない場合は、自己治療で対処できる範囲を超えていると判断される。
- b. 解熱鎮痛薬は、頭痛に対し、症状が軽いうちに服用すると効果的であるので、予防として発症する前から積極的に使用するべきである。
- c. 解熱鎮痛薬の連用により頭痛が常態化することがあるので注意を要する。
- d. 桔梗湯は、体力中等度以下で手足が冷えて肩がこり、ときにみぞおちが膨満するものの頭痛、頭痛に伴う吐きけ・嘔吐、しゃっくりに適すとされる。

- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| | a | b | c | d |
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 3. | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 4. | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 5. | 誤 | 正 | 正 | 誤 |

【51】2 (a. 誤 : b. 正 : c. 正)

〔解説〕 a. 記述の内容に該当するのは、**延髄**。視床下部は自律神経系、ホルモン分泌等の様々な調節機能を担う。

【52】3

〔解説〕 1. 目は、副交感神経が活発になると瞳孔が収縮する。
2. 心臓は、副交感神経が活発になると心拍数が減少する。
4. 肝臓は、副交感神経が活発になるとグリコーゲンが合成される。
5. 腸は、副交感神経が活発になると運動が亢進する。

【53】2 (a. 誤 : b. 正 : c. 正)

〔解説〕 a. 一般に、消化管からの吸収は、濃度の高い方から低い方へ受動的に拡散していく現象である。

【54】4

〔解説〕 循環血液中に移行した有効成分は、血流によって全身の組織・器官へ運ばれて作用するが、多くの場合、標的となる細胞に存在する (a : 受容体)、酵素、(b : トランスポーター) などの (c : タンパク質) と結合し、その機能を変化させることで薬効や (d : 副作用) を現す。

【55】4 (a. 誤 : b. 正 : c. 誤 : d. 誤)

〔解説〕 a. 一般的には、適用する部位の状態に応じて、軟膏剤は、適用部位を水から遮断したい場合等に用い、患部が乾燥していても使用できる。また、クリーム剤は、患部を水で洗い流したい場合等に用いられる。
c. 顆粒剤は粒の表面がコーティングされているものもあるので、**噛み砕かず**に水などで飲み込む。
d. 記述の内容に該当するのは、**口腔内崩壊錠**。カプセル剤は、必ず適切な量の水 (又はぬるま湯) とともに服用する。

【56】2 (a. 正 : b. 正 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 d. いずれも発症機序の詳細は不明であり、また、発症の可能性のある医薬品の種類も多いため、発症の予測は極めて困難である。

【57】5 (a. 正 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 c. 黄疸とは、**ビリルビン (黄色色素)** が胆汁中へ排出されず血液中に滞留することにより生じる、皮膚や白眼が黄色くなる病態である。

【58】4 (a. 正 : b. 正 : c. 誤)

〔解説〕 c. 記述の内容に該当するのは、**うっ血性心不全**。**不整脈**とは、心筋の自動性や興奮伝導の異常が原因で心臓の拍動リズムが乱れる病態で、めまい、立ちくらみ、全身のだるさ (疲労感)、動悸、息切れ、胸部の不快感、脈の欠落等の症状が現れる。

【59】5 (a. 誤 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 a. 「交感神経系」⇒「副交感神経系」。
c. 医薬品による排尿困難や尿閉は、前立腺肥大等の基礎疾患がない人でも現れることが知られており、男性に限らず**女性においても報告されている**。

【60】3 (b, c)

〔解説〕 a. 記述の内容に該当するのは、**接触皮膚炎**。**光線過敏症**は、医薬品が触れた部分だけでなく、全身へ広がって重篤化する場合がある。

d. 薬疹は医薬品の使用後1~2週間で起きることが多いが、**長期使用後に現れることもある**。

令和2年度 (2020年) 午後 正解&解説

〔主な医薬品とその作用〕

【61】5

〔解説〕 5. **コデインリン酸塩水和物**は、その作用本体であるコデインがモルヒネと同じ基本構造を持ち、**依存性がある**。長期連用や大量摂取によって倦怠感や虚脱感、多幸感等が現れることがあり、薬物依存につながるおそれがある。

【62】1 (a. 誤 : b. 正 : c. 誤)

〔解説〕 a. かぜであるからといって必ずしもかぜ薬 (総合感冒薬) を選択するのが**最適とは限らない**。発熱、咳、鼻水など症状がはっきりしている場合には、**症状を効果的に緩和させるため**、解熱鎮痛薬、鎮咳去痰薬、鼻炎を緩和させる薬などを選択することが望ましい。
c. かぜ薬は、ウイルスの増殖を抑えたり、ウイルスを体内から除去するもの**ではなく**、咳で眠れなかったり、発熱で体力を消耗しそうなときなどに、それら諸症状の緩和を図る**対症療法薬**である。

【63】4 (a. 誤 : b. 正 : c. 誤 : d. 正)

〔解説〕 a. エテンザミドは、痛みの発生を抑える働きが作用の中心となっている他の解熱鎮痛成分に比べ、痛みが神経を伝わっていくのを抑える働きが**強い**。
c. 無水カフェインは、中枢神経系を刺激して頭をすっきりさせたり、疲労感・倦怠感を和らげることなどを目的として配合され、解熱鎮痛成分の**鎮痛作用を増強する**効果も期待されている。

【64】1 (a. 正 : b. 誤 : c. 正 : d. 誤)

〔解説〕 b. 解熱鎮痛薬は、頭痛の症状が軽いうちに服用すると効果的であるが、症状が現れないうちに**予防的に使用することは適切でない**。
d. 記述の内容に該当するのは、**呉茱萸湯**。**桔梗湯**は、体力に関わらず使用でき、喉が腫れて痛み、ときに咳がでるものの扁桃炎、扁桃周囲炎に適すとされる。

【65】1 (a. 正 : b. 正 : c. 誤)

〔解説〕 c. 抗ヒスタミン成分を主薬とする催眠鎮静薬は、睡眠改善薬として一時的な睡眠障害 (寝つきが悪い、眠りが浅い) の緩和に用いられるものであり、**慢性的に不眠症状がある人や、医療機関において不眠症の診断を受けている人を対象とするものではない**。**妊娠中にしばしば生じる睡眠障害**は、ホルモンのバランスや体型の変化等が原因であり、睡眠改善薬の**適用対象ではない**。妊婦又は妊娠していると思われる女性には、睡眠改善薬の使用は避ける。

登録販売者試験 問題集
令和7年版 北関東・甲信越編

■ 発行所 株式会社 公論出版
〒110-0005 東京都台東区上野3-1-8
TEL (販売) 03-3837-5745
(編集) 03-3837-5731

■ 定 価 1 8 7 0 円 (税込)

■ 発行日 令和6年12月20日

ISBN978-4-86275-302-1